

2014年次大会発表演題一覧

筆頭者

| | |
|---|--------------------------------------|
| 上肢速度と大転子点を用いた重心速度推定方法の開発 | 松田有司(国立スポーツ科学センター) |
| 水中での巻き足動作時の効率に関する研究 | 川合英介(筑波大学大学院) |
| ブルにおいて手の指を極端に開くと抵抗が大きくなる理由の考察 | 竹島良憲(株式会社ベース) |
| 疲労に伴うフッターキックの動作と筋活動の変化について | 西山賢太郎(筑波大学大学院) |
| 男子大学競泳選手におけるバサロキックの特徴～動作と筋活動に着目して～ | 金子雅紀(筑波大学大学院) |
| 水中および陸上移動運動時の下肢筋活動のパターン比較～歩行運動での再検討およびDWRを加えた検 | 金田晃一(千葉工業大学) |
| 水中ドルフィンキックとバサロキックの運動学的な相違に関する事例報告 | 市川浩(新潟医療福祉大学) |
| 「浮沈力」をつけると飛躍的に泳げるようになる | 鈴木智光(愛媛県松山市立潮見小学校) |
| 小学校5年生を対象としたクロール習得のための学習指導の検討～呼吸動作に着目して～ | 金沢 翔一(日本女子体育大学) |
| 水泳教育における着衣泳の普及と取り扱いの展望 | 松井 敦典(鳴門教育大学) |
| 水泳指導の系統性・順序性と水泳水中安全文化 | 合屋十四秋(愛知教育大学名誉教授) |
| クロール泳によるインターバルトレーニングにおける腹腔内圧の変化 | 大島美香(日本女子体育大学) |
| 8週間の体幹トレーニングが泳パフォーマンスに及ぼす影響 | 山縣慧子(日本女子体育大学大学院) |
| 激運動後のコンディショニング活動としての水中運動と陸上運動の効果の比較 | 大澤瑞樹(筑波大学大学院) |
| 競泳選手における酸素摂取動態と心拍数動態の分析～LT強度運動開始時と終了後の応答に着目して | 佐野公英(筑波大学大学院) |
| 平泳ぎにおけるドリルトレーニンング習熟度とArm-Leg Coordination技術との関係性 | 馬場康博(新潟医療福祉大学) |
| 背泳ぎスタートパフォーマンスの性差 | 奈良梨央(新潟医療福祉大学) |
| Backstroke start deviceを用いた背泳ぎスタートの動作とパフォーマンスに関する研究 | 池田祐介(新潟医療福祉大学) |
| 足の前後の配置がキックスタートパフォーマンスに及ぼす影響 | 長島菜央(日本女子体育大学) |
| トラックスタートにおけるバックプレート位置の違いがスタートパフォーマンスに与える影響 | 酒井紳(筑波大学大学院) |
| 大学競泳選手における無酸素性パワーについて～牽引泳と自転車運動との関係～ | 森誠護(鈴鹿工業高等専門学校) |
| 新たな自己推進時抵抗測定方法の信頼性と妥当性の検証 | 成田健造(筑波大学大学院) |
| 競泳選手におけるキックスピードと脚パワー及び足関節柔軟性との関係 | 野口雄慶(福井工業大学) |
| ドルフィンキックのキック頻度と泳パフォーマンスの関係性 | 下門洋文(筑波大学 体育系, HHP Research project) |
| クロール泳における3次元動作分析～長距離種目日本男子トップ選手に着目して～□ | 佐藤大典(中京大学大学院) |
| 水球選手の巻き足中に発揮される流体力の推定 | 角川隆明(筑波大学) |
| 競泳競技における記録変遷 | 波多 遥(びわこ成蹊スポーツ大学) |
| 水球競技における退水時攻撃のディフェンスの崩しについて～世界トップレベルにおける男女の違い～ | 洲 雅明(大分県立芸術文化短期大学) |
| 浮き身と呼吸機能の関係 | 目黒拓也(日本大学大学院) |
| 水中歩行における下腿体積と水分量変化との関連 | 平野 雅巳(福岡大学スポーツ科学部・基盤研究機関 身体活動研究所) |
| 競泳・水球・飛込選手の部位別左右別身体組成の比較研究 | 鳥海崇(慶應義塾大学体育研究所) |
| 水泳授業における受講生のストレス反応について | 奥田修人(大阪体育大学 スポーツ医学研究室) □ |
| マタニティ水着の開発 | 吉田篤代(慶應義塾大学政策メディア研究科) |